

まつかわ

□□□ 第2号 □□□

4月の懇談会・参観ありがとうございました～校長講話から～



新型コロナの感染拡大を受けて、オンラインで校長講話をお届けします。よろしくお祈りします。

本年度も昨年と同様 327名で力強く、そしてしなやかにスタートしました。

しかしながら、世界情勢では、ウクライナは緊迫の度合いを深め、終結の見通しが持てないままのロシアの侵攻が続いています。新型コロナも少し感染者数は減ってきて

いるものの、まだ依然と高い水準です。先日は、部活の練習試合についての通知をお配りしました。夏の大会が迫ってくる中、試合感覚を取り戻しておくこともベストパフォーマンスを発揮する上では必要と考え、そのような措置に踏み切ったわけですが、保護者の皆様には引き続きご理解とご協力をお願いします。

さて、今回の校長講話では、本年度の学校運営についてお話をさせていただきたいと思っております。まずは、本年度の松川中のグランドデザインをご覧ください。

本年度も学校生活のすべての場面でこの学校目標の実現をはかっていきたいと考えています。令和2年には、学校目標と学校のきまりの整合性を考え、学校のきまりを大幅に改訂し、生徒の自主性をできるだけ尊重する決まりとしました。

ほんの一例ですが紹介します。それまでは、下ばきの色は白、黒、灰色が基調でメーカーマーク以外の模様のないものとされていましたが、改訂後は体育で使える運動靴という表記だけです。現在すべての生徒が自分で考えて、学校生活にふさわしい靴で登下校をしています。

しかし、学校生活は集団での生活ですので、当然ルールもあり、学校のきまりには、それを守る規範意識を育てるといふ一面もあります。例えば、日常のソックスの色は、今まで白のみでしたが、白は汚れが目立つという生徒の意見も取り入れて、黒や紺も良しとしました。しかし、儀式的行事、旅行的な行事については、松川中の正式な服装ということで白で統一しました。

このように、授業のみならず、日常生活の全般を通して、学校目標に近づいていけるようにしたいと考えています。

さて、次に具体的にめざす生徒像ですが、今年も3つ掲げました。①自らの考えを表現できる生徒 ②お互いの多様性を認め合うことができる生徒 ③ふるさと松川を愛する生徒 このめざす生徒像に向けての重点的な取り組みを設定しました。(ここのところについては後日配付される学校要覧にグランドデザインが掲載されますので、そちらをご覧ください。)

次に今年入学した1年生からの実施となる新しい入試制度について若干触れておきたいと思っております。詳しい要綱案はこれから発表されますので、ここでは変更点のみ簡単に触れます。 ～中略～

ネットモラル講演会

6月15日(水)第2回参観日に合わせて実施
講師：南澤信之氏(セーフティネット総合研究所代表理事)

※松川町ネットトラブル相談事業委託先

shinpai@nistr.jp (シンバイ ナイサー)
どんな小さなことでも一人で悩まずメールで相談。

② 3Mを大切にしながら、お互いの多様性を認め合うことができる生徒の育成をめざす。

- ・教師、さらに生徒同士の3M、良さを「見つけ認め見とどける」ことで互いを肯定的に受けとめる関係づくり。
- ・チーム学習の実践を通して多くの職員が一人一人の生徒と関わり、多面的な生徒理解をはかる。
- ・生徒会を中心に縦割り活動を積極的に導入し、相互理解をはかり、集団の絆を深める。
- ・インクルーシブ教育と学びの場の保障、オンラインを活用してのつながりづくり
- ・家庭と連携しネットモラルや情報リテラシーなど今日的な教育課題への対応

※学校評価2 学校での生活は楽しく充実しているか(R3 75%)

※学校評価3 学年、クラスが楽しく安心してできる場所になっているか(R3 70%)



オンライン学習

- (1) 前期選抜への学力検査の導入
 - ・5教科200点満点 選択式 短答式
- (2) 前期選抜の募集枠の拡大
 - ・50%以内から60%以内へ
- (3) 前期選抜の志願理由書の簡略化
- (4) 後期選抜への面接の導入
- (5) 追加募集の再募集への統合
- (6) 調査書の様式変更

続いて松川中に制服についてお話しします。先日、これに関して通知が配付されました。詳しくは、その通知をご覧ください。昨年度も、年度末の校長講話でこの件について触れさせていただきましたが、事の発端は、学校アンケートに寄せられた3年生女子の声から動き出しました。

その後、アンケートをへて、その結果をもとに制服検討委員会で検討し、LGBTQの観点からも、長年の懸案であった、松川中の制服を変える時は今しかないと変更を決定した次第です。今後、多くの方々の意見を聞きながら、来年度からの新しい制服を決定していきます。またリユースが当面できないということから、町からの補助もしていただく方向で調整中です。

SDGsによる、持続可能な開発目標による新しい社会の実現、ギガスクール構想で一人一台のタブレット、時代はDX（デジタルトランスフォーメーション）の時代へと進んでいます。そんな変化に対応しつつも、大切にしながら見失わず、前に進んでいきたいと思えます。本年もどうかよろしくお願い致します。以上でPTA校長講話を終わりにします。



最後までご視聴いただきありがとうございました。

※保護者の皆様へ

松川中学校では、生徒の皆さんが安心して学校生活を送れるよう、学校管理面や生活指導面で注意してまいりましたが、より一層安心して生活できる学校にしていくため、以下のことについても配慮してまいります。

- ・生徒との個別相談では開放された場所で行ったり、複数の職員で相談に応じたりするよう配慮します。
- ・教室、研究室、その他諸室についてドアなどに掲示物を貼らず、外からも見えるようにするなど管理を適切に行うようにします。
- ・職員が生徒保護者と私的な電話、メール、SNS等のやり取りはしません。
- ・安全確保等、社会通念上認められる範囲外の生徒への身体接触はしません。
- ・生徒の記録写真などは学校の公用サーバーで管理します。
- ・教育目的外で性に関することについて話題とすることはしません。
- ・室管理が不適正であったり、指導に対して不適切と感じたりしたときは校内相談窓口へお知らせください。

相談窓口 松川中学校36-2073 担当 教頭:橋倉卓也 養護教諭:赤羽美紀

新型コロナウイルス感染症対策について

5月20日(金)に新型コロナウイルスの感染警戒レベルが全県3以下に引き下げられました。長野県教育委員会の「新型コロナウイルス感染症対策の県立学校運営ガイドライン」に従い、校内行事や学校生活はこれまでと同様、感染対策を徹底しながら、できるだけ通常通りに行ってまいります。ただ、レベル4以上の場合には保護者を含めて不特定多数の参観はやめ、生徒との接触の機会を減らすなどの対策をとります。状況によって、さらに変更が出てくる可能性がありますので、ご理解ください。

したがって、6月15日の参観日については、

①授業は参観していただく。②午後の講演会については、生徒は体育館で話を聞き、保護者の皆さんは教室で視聴していただく。③学年PTA及び学級PTAは行う。

としたいと思います。いずれも、各ご家庭1名でお願いします。

なお、体調が悪い場合は無理をさせず、家で療養させてください。(本人のかぜ症状の場合等、欠席日数として扱いません。)医療機関を受診した場合には、診断結果や検査結果も学校にお知らせください。よろしくお願いいたします。